

産業応用工学会論文誌への投稿手引

最終変更：平成 28 年 9 月 26 日

1 投稿規則

1.1 対象分野

産業応用工学会論文誌（以降、「本会論文誌」とする）の対象分野は次の通りである。

- 電気電子
- 情報通信
- 計測制御
- 機械
- 生産技術
- 物質化学
- 土木建築
- その他

1.2 投稿種別

本会論文誌は、「論文」、「レター」の投稿を受け付ける。これらの要件を以下に示す。

(a) 論文

- 産業界への応用の可能性があるもの。
- 投稿者自身の研究結果をまとめた報告であり、新規性、有用性、独創性のいずれかが認められるもの。
- 内容に明確な誤りがなく、信頼性、再現性があるもの。
- 他の公開出版物に投稿、発表されていないもの。ただし、本会が主催もしくは共催する各種大会およびこれに準ずる集会で発表された論文で、著作権上問題ないものは投稿できる。

(b) レター

- 新規性、有用性、独創性のいずれかに関する技術の速報。
- 他の公開出版物に投稿、発表されていないもの。ただし、本会が主催もしくは共催する各種大会およびこれに準ずる集会で発表された論文で、著作権上問題ないものは投稿できる。

1.3 投稿資格

本会会員からの投稿を受け付ける。会員でない者は、入会金、年会費無料の個人会員に登録することで投稿できる。

1.4 著作権

本会論文誌に掲載される論文、レターの著作権は産業応用工学会に帰属する。本会は著者が論文、レターを投稿したことをもって、著者全員が「産業応用工学会論文誌への投稿手引」の著作権に関する記述に同意し、本会に著作権を譲渡したものとみなす。ただし、著作権を譲渡しても以下の権利等は著者に残るものとする。

- 著作権以外の特許権のような権利。
- 著者が営利を目的としない使用。
- その他、日本国著作権法に反しない使用。

また、同一内容の論文、レターを他の公開出版物に投稿、発表してはならない。ただし、掲載不可となった場合、本会への著作権の譲渡も無効となる。

1.5 個人情報の保護

本会論文誌に写真や氏名等の個人情報に関わるデータを掲載する場合は、十分な配慮すること。

2 原稿作成要領

本会では、投稿原稿の作成方法として、MS-Word テンプレートファイルを用意している。投稿原稿は MS-Word テンプレートファイルで作成すること。

2.1 書式

書式は、用紙の上下を 25 mm、左右を 16 mm を余白とする。2 段構成とし、中心を 6 mm あける。1 ページあたりの文字数は、25 字×48 行×2 段=2400 字とする。論文の場合、ページ数は 4 ページ以上 12 ページ以下とする。ただし、別途料金を支払うことで、12 ページを超過することができる。レターの場合、ページ数は 2 ページまたは 3 ページとする。

2.2 表題等の書き方

表題等は以下の順で記入する。

(a) 表題

用紙 2 行目中央に記入する。表題が長い場合、2 行目から 2~3 行で記入する。

文字のフォントは「MS 明朝」および「Times New Roman」とし、サイズは 16pt とする。

(b) 著者名

表題から 1 行あけて中央に記入する。性と名の間空白を 1 文字文あける。著者が複数いる場合、横にならべて記入し、著者の間に空白を 2 文字あける。著者の所属は 1 ページの左下の注釈に、日本語、英語の併記で記入する。代表者はメールアドレスも記入する。所属には「a,b,c…」を、代表者には「*」を用いる。文字のフォントは「MS 明朝」および「Times New Roman」とし、著者名のサイズは 12pt、注釈のサイズは 8pt とする。

(c) 英語の表題

著者名から1行あけて中央に記入する。表題が長い場合、2～3行で記入する。文字のフォントは「Times New Roman」とし、サイズは14ptとする。

(d) 英語の著者名

英語の表題から1行あけて中央に記入する。性と名の上に空白を1文字文あける。著者が複数いる場合、横にならべて記入し、著者間に半角カンマとスペース「,」で繋ぐ。日本語と同様に、著者の所属の注釈を記入する。文字のフォントは「Times New Roman」とし、サイズは12ptとする。

(e) 受付日・採択日

英語の著者名から1行あけて中央に記入する。receivedの後に受領日(月日年)を、acceptedの後に採択日(月日年)を記入する。テンプレートのように、()内に古い順に「;」で繋げて記入する。文字のフォントは「Times New Roman」とし、サイズは9ptとする。

(f) Abstract

受付日・採択日から1行あけて左揃えで「Abstract」とBold体で記入する。本文は1行目をタブ(5文字程度)でずらし両端揃えで記入し、50～200語とする。左右空白2文字分あける。文字のフォントは「Times New Roman」とし、サイズは9ptとする。

(g) キーワード

Abstractから1行あけて左揃えで「キーワード:」の後に日本語のキーワードを5ワード以内で記入する。ワード間は全角カンマ「,」で繋ぐ。次の行に左揃えで「Keywords:」の後に英語のキーワードを5ワード以内で記入する。ワード間は半角カンマとスペース「,」で繋ぐ。文字のフォントは「MS明朝」および「Times New Roman」とし、サイズは9ptとする。

2.3 本文の書き方

本文の文字のフォントは「MS明朝」および「Times New Roman」とし、サイズは9ptとする。

(a) 見出し

本文の記述は、内容に応じて章、節の見出しをつける。章は「1. ○○○」とし、上下0.5行をあけて中央揃えでサイズを10ptとし記入する。節は「1.1 ○○○」とし、左揃えで記入する。より細分化したい場合、(a), (b), (c)等を用いる。

(b) 用語

日本語は、原則として「常用漢字」、「アラビア数字」を用い、現代仮名づかいとする。句読点は、句点「。」と読点「,」をそれぞれ全角で用いる。用語は、原則として「文部省学術用語集」によるものとする。単位は、SI単位および一般的に広く用いられているものとする。

(c) 図・写真・表

図、写真の表題は、英語で図、写真の下に通し番号を付けて「Fig. 1. ○○○」のように記入する。説明がないものは不可。(a), (b), (c)等のサブタイトルを付けてもよい。表の表題は、英語で表の上に通し番号を付けて「Table 1. ○○○」のように記入する。図、写真、表中の説明は原則として英語とする。図、写真、表は本文中に挟まず、ページの上下に寄せる。表題のフォントは「Times New Roman」とし、サイズは9ptとする。ただし、サブタイトルのサイズは8ptとする。

(d) 式

式は通し番号を付け、空白2文字程度あけて記入する。

(e) 謝辞

記載する場合、本文の最後に記載する。

2.4 文献の書き方

文献は、本文の後に1行あけて記入する。本文で引用する順に通し番号を付けて記入する。本文中の引用箇所に「引用文献⁽¹⁾引用文献^(2,3)引用文献^(2,4)」のように、丸カッコで囲んだ引用番号を上つきで記入すること。複数引用文献がある場合、連番の時は「-」、番号が飛ぶ時は「,」を用いて繋ぐ。文献の表記はテンプレートの文献を参考に、日本語の場合は、著者名、著者名、著者名：「タイトル」、雑誌名、巻数、号数、ページ数、発行年のように記入する。英語の場合、Name, Name, and Name: “English Title”, Journal, Volume, Number, Pages, Yearのように記入する。文字のフォントは「MS明朝」および「Times New Roman」とし、サイズは7ptとする。

2.5 著者紹介の書き方（論文のみ）

著者紹介は、文献の後に1行あけて記入する。テンプレートを参考に、左端に顔写真（縦横28×21mm）を貼り付け、右に氏名、著者紹介を記入する。著者が複数名いる場合、著者間を1行あける。文字のフォントは「MS明朝」および「Times New Roman」とし、氏名のサイズは9pt、著者紹介のサイズは8ptとする。

3 投稿手続き

論文等の投稿に関する全ての手続きは本会の電子投稿システムで行う。著者は次のURLにアクセスして手続きを行うこと。

https://www2.ia-engineers.org/Journal_J/

3.1 投稿

投稿は本会の電子投稿システムで行う。必要な情報を登録し、原稿のPDFファイルをアップロードすること。登録確認後、著者に受付番号が通知される。

3.2 審査

投稿論文は論文査読者により「論文査読規定」に従って査読される。その査読結果に基づいて投稿論文に対する判定が行われ、結果は投稿者に通知される。なお、査読結果は以下の4つに分類される。

A 判定 掲載

B 判定 照会後再投稿

C 判定 照会後再投稿

D 判定 掲載しない

A 判定の場合、そのままの内容で掲載される。書式の修正がある場合がある。

B 判定および C 判定の場合、査読結果通知後 100 日以内に、照会内容に応じて投稿原稿を修正し回答文とともに電子投稿システムで再投稿を行う。再投稿がない場合、掲載取り下げとする。再投稿後、査読が行われ、結果は投稿者に通知される。結果が B 判定または C 判定の場合、再投稿を繰り返す。

3.3 掲載決定後の手続き

審査の結果、A 判定となった場合、掲載予定時期が通知される。最終原稿の提出を求められた場合、速やかに提出すること。なお、著者の都合により掲載時期を遅らせた場合は申し出ること。

4 掲載料

投稿論文が本会論文誌に掲載される場合、掲載料を支払わなければならない。掲載料を以下に示す。

論文 20,000 円

レター 10,000 円

ただし、12 ページを超過する論文の場合、1 ページ当たり 5,000 円の料金を支払うこと。